

子ども「会社」 客をもてなし

七夕のメニューで

上京・堀川商店街

子どもたちが企画を立案し運営する「堀商キッズ・七夕まつり」が4日、京都市上京区の堀川商店街にあるイベントスペース「堀川ACLab」で開かれた。子どもたちが「営業」するカフェやオリジナルのすごろくを通して「客」をもてなした。

会場には小学4〜6年生の6人が運営する「堀商キッズ社」の店舗が軒を連ねた。カフェでは、旧暦の七夕に合わせて子どもたちが考案した、グレープフルーツジュースにりんごジュースを足した「おりひめジュース」

や、日本茶を炭酸水で割った「ひこぼし茶」などユニークなメニューが並んだ。社員役の子どもたちは訪れた人たちにメニューを紹介し、注文を取った。すごろくと福笑いのコーナーもあり訪れた親子連れらとともに楽しんだ。

催しは小学生にリーダーシップを身に付けてもらおうと中京区のNPO法人が行った。堀商キッズ社の社長で柏野小6年の今河咲乃さん(12)は「お客さんに楽しく過ごしてもらえてうれしい」と話した。(浅井佳穂)



カフェで注文を受けた飲み物を出す堀商キッズ社の社員(右から3人目)＝京都市上京区・堀川ACLab